

2025 年度第 2 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ（案） r1

2025 年 7 月 11 日
社会・環境部会 事務局長
山本 隆一

1. 開催日時
2025 年 7 月 11 日（金）13：30～15：40
2. 開催場所
Zoom によるリモート会議
3. 出席者
土田部会長、佐田副部会長、諸葛委員、風間委員、篠田委員、布目委員、
高木委員、小林委員、木藤委員、竹田委員、桑垣委員、龍原委員、
藤田委員、山本事務局長
4. 配付資料
25-2-0 議事次第
25-2-1 2025 年度第 1 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ案
25-2-2 部会等運営委員会の状況について
25-2-3 2025 年の構成と部会員への周知について
23-2-4 社会・環境部会企画セッションの構成と役割分担等について
23-2-5 2023 年度予算執行状況等について
23-2-6 マスメディアとの関係構築（現状と見通し）
25-2-10 ポジション・ステートメント WG の状況について
25-2-10-1 社会環境部会運営小委員会委員名簿
25-2-10-2 2025 年度運営体制表
25-2-11 ダイバーシティ推進委員会企画のポスターセッションについて
25-2-12 学会誌企画
5. 議事概要
部会長挨拶の後、議事次第に沿って議事が進められた。

(1) 前回議事メモ確認
(1) 山本より 25-2-1 に沿って前回の議事について紹介した後、部会長より次週位までのコメントがあれば山本宛申し出るよう指示があ

った。

(2) 部会等運営委員会の状況について

稲村委員より資料 25-2-2 に沿って紹介した。主な点は以下の通り；

- ① 春の年会はオンラインでの開催だったこともあって、発表件数、参加者数、ともに伸び悩んだことから、収支は黒字だったものの、今後は対面開催を原則とするとのこと。ただし一部ハイブリッド開催といった方法についても議論を継続するとのこと。
- ② 秋の大会の企画セッションの名称について、当部会とバックエンド部会、バックエンド部会と計算科学技術部会の間でキーワードの重複があったが、内容に重複は無いので登壇者の都合を優先し、開催日時をずらす等の措置は取らないことにしたとのこと。
- ③ 計算科学技術部会と炉物理部会から一般発表のセッションにおいて合同で開催したい旨の申し出がありこれを認めることとしたとのこと。
- ④ 年会大会の開催地については2年後より開催巡回を改め、春は関東甲越、秋は北海道、とする案が了承されたとのこと。
- ⑤ 事務局よりパネルディスカッション用の椅子や机の追加準備は行わない（会場のあるもので対処願いたい）旨提案があり、了承されたとのこと。
- ⑥ 春の年会におけるプログラム編成での座長選任において、理事会で承認された「D&I 推進のためのアクションプラン」に基づいて、女性・若手の登用を進めていたが、座長諾否回答フォームのチェック欄（性別と40歳以下かどうかの任意のチェック）を見て、座長を辞退された方がいた。そのため、秋の大会では、部会等運営委員会からの依頼に基づいてプログラム編成の前に、ダイバーシティ推進委員会より AESJ メールで会員へ、女性・若手の座長登用に関して、会員への協力を周知した。社会・環境部会としても、理事会の方針に従っていくが、座長選任時に若手かどうかの年齢を把握するために、社会・環境部会のメンバーにメールで年齢等の調査を実施することとした。調査方法や設問内容の詳細は、高木、桑垣委員で今後検討することとした。

今回は、運営小委員会委員の任期が6月末だったことから、本日の報告まで稲村氏より報告いただいたが、以後は新委員である木藤委員にお願いすることになる旨、部会長より紹介があった。

(3) 2025 年秋の大会について

- ① 全体会議の構成と部会員への周知について

山本より、資料 25-2-3 に沿って、全体会議の概要について紹介した。その中で、特に(3)のその他報告について部会長より、ポジション・ステートメントについては、運営小委員会内で情報共有するに止め、むしろ、マスメディア交流会や研究専門委員会について紹介してはどうか、とのコメントがあり、その方向で見直すこととなった。

また、当日の資料共有については紙の配布は止め、プロジェクター投影で紹介の方が合理的、との佐田副部会長の提案があり、了承された。このために必要となる PC については副部会長の他、開催地に近い高木委員が用意することとなった。

② 部会企画セッションの構成等について

佐田副部会長より 25-2-4 に沿って企画セッションの概要が紹介され、時間配分（座長 5 分、竹田氏 25 分、井内、渡辺氏各 20 分、総合討論 20 分）について了承を得た。時間が限られているので、座長あいさつは全体紹介にとどめ、登壇者のプロフィールは自己紹介でお願いする、総合討論の進行は座長一任とし、そこでは登壇者間の意見交換を含める提案が了承された。

(4) 定例報告等

① 2025 年度予算執行状況

高木委員より 25-2-5 に沿って説明があった。この中で、部会企画セッションにご登壇頂く井内氏(非会員)の旅費・謝金の支出についてはこれまでの実績から推計している旨説明があり、了承された。

② マスメディアとの関係構築について

風間委員より 25-2-6 に沿って説明があった。その中で、次の交流会のテーマについて 3 案提示があり、意見交換の結果、A 案（次世代軽水炉の設置、安全基準）に対する出席委員からの賛成者が多く、またマスコミ側の希望も比較的多かったことから、このテーマで進めることとなった。なお講師については別途調整することとなった。

③ PS について

山本より 25-2-7 に沿って PS 改革の進捗状況について紹介した。部会長より、PS を英語版で発信するということは、例えば、ANS の PS と見比べられることになるので、それなりの覚悟がいるのではないかととのコメントの他、当部会においては、そもそも PS をどう捉えるべきか、といった議論が必要ではないか、との問題提起があった。

④ 部会 HP について

木藤委員より、本日あらためて紹介するような事項は無いとのことであった。

(5) その他

- ① 寿楽委員欠席のため、研究専門委員会に関する議論はお休みとし、山本より、資料 25-2-10-1 と資料 25-2-10-2 を用いて、当運営小委員会の委員構成、並びに委員の役割分担について紹介した。この中で、先ず、先般、部会長、副部会長及び事務局長あて退任の意思表示があった高嶋氏について部会長より補足説明があり、運営小委員会として意思を尊重し、退任を認めることとした。その後、新たに参加して頂くこととなった藤田委員の紹介があり、運営小委員会内の役割分担としては表彰委員会に委員として参画して頂くこととなった。佐田副部会長の提案もあって企画小委員会の内部組織として設定されている「勉強会」と「シンポジウム等企画具体化チーム」を統合し、そのメンバーとして、篠田委員、藤田委員を加えることとなった。
- ② 資料 25-2-11 により小林委員より、ダイバーシティ推進委員会のポスターセッションに関して、部会等運営委員会からの参加案内の紹介があり、部会として小林委員を中心にポスター案を作ってみることとなった。
- ③ 資料 25-2-12 により佐田副部会長より学会誌企画として検討中の会員アンケートについて紹介があった。なお、この時点で会議終了時間が迫っていたため、内容紹介は「頭出し」とどめ、今後はこのアンケートの趣旨や目的、対象とする母集団、主催組織、予算措置などについて明確化を求める指摘があった。

以上